

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.36
2010.6

くしろ丹頂



新役員（任期：平成22年5月～25年5月）集合写真

C O N T E N T S

- 第4回釧路丹頂農業協同組合通常総会 1
- 第4回釧路丹頂農業協同組合通常総会・瀧澤義一組合長挨拶 2
- 新役員の御紹介/新役員の職務分担 3
- 釧路丹頂農協女性部交流会/理事会報告 4
- 普及センターだより 5
- 生乳生産実績/家畜販売市況情報/辞令発令 6
- 組織機構図 7
- 口蹄疫侵入防止の徹底を!! 9



釧路丹頂農協女性部交流会を開催（牛乳で乾杯!!）

第4回 釧路丹頂農業協同組合

通常総会開催



5月14日(金)、鶴居村総合センターで、第4回釧路丹頂農業協同組合通常総会が開催されました。

開会にあたり、JA綱領を斉唱し、そして瀧澤組合長より開会の挨拶がありました。また、御来賓の皆様を代表し、白糠町長 棚野孝夫様、JA北海道中央会根釧支所長 横田勝美様から御挨拶を頂きました。

また、総会の定足数は、正組合員総数469名に対し、出席組合員数398名(本人出席93名、代理人出席7名、書面議決298名)により総会は成立し、議長には鶴居地区の折笠文則氏、副議長には音別地区の山田巧氏が選出され議事進行を担いました。

議案第1号 平成21年度(第4年度)事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案および注記表の承認についてから、議案第8号まで及び報告事項について順次議案が上程され、音別地区 山崎義憲氏から事業管理費及び剰余金処分案に対する内容等について、また鶴居地区 斉藤弘子氏から購買事業について質疑を受け、組合長、参事及び事務方からの説明により了承頂いた上で、全議案は議決されました。

また、今回の役員改選により、退任されました植田晃雄前地区代表理事に対し、初代代表理事組合長の功績を称え、当JAより感謝状及び記念品が贈呈されました。

今回、総会に御出席頂きました御来賓の皆様方をはじめ、組合員の皆様方には深くお礼申し上げますとともに、今後も農協の事業運営に対し、より一層の御協力を宜しく御願致します。



植田晃雄前地区代表理事(初代代表理事組合長)に感謝状を贈呈



出席した組合員の皆様



(左)折笠文則議長 (右)山田巧副議長

第4回通常総会挨拶



代表理事組合長
瀧澤 義一

当農協合併発足以来、正組合員五百人以上という要件の中で、総代制をとって、総代総会を開催してきたわけですが、今年の四月一日時点で、正組合員数四百七十人と、通常の全正組合員の方に参加御案内をする通常総会を開会する形となりました。本日出席を頂いている正組合員の皆様を含めて書面議決の部分でも、大変なご協力を頂いて総会が成立し、開会出来ているという事に感謝を申し上げる所でございます。

また、合併時点から、四十戸近い生産農家の方が離脱せざるを得なかったということですが、私共農協執行者としても、非常に悲しい思いを募らせる所ではございますが、現況の生産戸数については、百九十戸となっております。現下の農業情勢を含めて、今後の見通しと、皆様に勇気と決断を持って経営に取り組んで頂ける状況をしっかりと造りながら、共に努力し行動していくという農協執行

者としての責任を重く感じる所でございます。私共を取り巻く情勢は、非常に変化の激しいここ数年の動きであり、特に現下における生乳の消費・販売という部分については、消費の低迷・人口の減少等を含めて、なかなか思う方向に行かないところであります。

二十二年度における乳価交渉も、非常に厳しい交渉を現在継続中です。現時点において、販売価格を上げて乳業メーカーに交渉せざるを得ないという状況ですが、今月中に交渉の決着をし、販売委員会、あるいは酪対で報告される予定になっております。先般の中間報告の中ではメーカーとの保証価格では三円から三円五十銭、さらに今年決着しております限度数量の十万吨減、あるいは、それら牛乳・飲用乳の減額分が、北海道全体で三十億円になるということ、これを今年の目標数量に割り返すと補助金の減額だけでキロ当たり八十銭になるという試算がされており、最大幅でいくと四円三十銭まで、下げざるを得ないという酪農経営者にとっては非常に厳しい状況でございます。このキロ単価の部分が集荷総量ということになると、大変な所得の減額になる訳で、五百トンであれば二十万から二百二十万円の所得が減少するということですから、生産資材等を含めて経営コストの減少に努めながら、それが

農協としても、あるいは連合会としても、その事をしっかりと取り組む意識を持つていかなければいけないと考えている所であります。

更に口蹄疫の問題ですが、依然として終息に向かわず発症例が日々報告をされているという現状であり、この事が北海道に及ぶという事があれば、北海道農業あるいは酪農・畜産の壊滅的な影響を大変懸念をしている所で、特にあつてはならないと考えております。

そして、この地域に農業被害を多大にもたらしておりますエゾ鹿にこの自然感染等があるとすれば、これは北海道の酪農・畜産の壊滅的な崩壊を招くという事になるのは必然で、この地域の大きな農業課題として当市町村あるいは国にまで伝えて頂いて、その対応を求めている所であり、道庁と北海道中央会、あるいは北海道猟友会等の組織等を含めて対策協議会が今日施行されるということで、対応を緊急にとる必要があると考える所であります。

農協及び皆様の酪農経営等の状況であります。昨年は前年を若干上回る十萬三千二百トン程の生乳出荷をして頂き、乳価の上昇という事もございましたし、前年より乳代部分だけで、補給金を含みますが、七億七千万円程増加したということで、個体販売等は一億円程減少致し

ましたが、農業収入合計では、前年比約六%増と六億円を超える増加がみられました。

更に高騰を続けておりました飼料費につきましても、七千万円程総額で減少し、その他燃料等の価格の上下や肥料等については下がらず高止まりをしていたという状況でしたので、農業支出では約三億円程の増加をせざるを得ず、総合収支では、農業所得で三億二千万円程の増加が見られました。

また、農協事業収益等につきましても、生乳生産対策事業及び農家経営支援対策事業として、期中で割り戻しという部分を含めて対応対策をさせて頂きました。

結果、今年度事業利益では七千八百万円、当期剰余金では一億二千万円を計上確保することが出来ました。その部分で昨年飼料取扱高に1%の事業分量配当特別配当をさせて頂いた所でございますが今年、皆様にお配りする部分におきましては2%と、額としては四千二百五十万円程の特別配当を決算報告等の中で説明をし、お諮りをしてご承認をお願いする所であります。

本日は、公務多端にもかかわらず、ご臨席・ご指導頂きますご来賓各位・関係機関・団体及び組合員の皆様に感謝を申し上げます、挨拶とさせて頂きます。

役員の御紹介



代表理事組合長
瀧澤 義一



代表理事専務
對木 範誉



信用担当理事
梶原 英光



理 事
高橋 達雄



理 事
松下 勉



理 事
松井 俊治



理 事
武藤 清隆



理 事
井出 清澄



理 事
芳澤 改治



理 事
田井 博行



理 事
大坂 博文



代表監事
尾田 猛



監 事
瀬戸 計見



員外監事
村上 泰夫

役員の職務分担

1. 執 行 体 制

代表理事組合長	瀧澤 義一			
代表理事専務	對木 範誉			
信用担当理事	梶原 英光			
理 事	高橋 達雄	松下 勉	松井 俊治	武藤 清隆
代 表 監 事	井出 清澄	芳澤 改治	田井 博行	大坂 博文
監 事	尾田 猛			
	瀬戸 計見	村上 泰夫		

2. 専 門 委 員 会

管理金融共済	委員長	大坂 博文	委 員	松下 勉	委 員	武藤 清隆
	委 員	井出 清澄	委 員	芳澤 改治	委 員	對木 範誉
	委 員	梶原 英光				
営 農 経 済	委員長	松井 俊治	委 員	高橋 達雄	委 員	松下 勉
	委 員	芳澤 改治	委 員	大坂 博文	委 員	對木 範誉
	委 員	梶原 英光				
融 資 協 議 会	委員長	井出 清澄	委 員	松井 俊治	委 員	武藤 清隆
	委 員	田井 博行	委 員	對木 範誉	委 員	梶原 英光

3. 関係団体委員・役員

農 業 委 員 (3名)	(鶴居村)	瀧澤 義一
	(釧路市)	大坂 博文
	(白糠町)	井出 清澄
釧路地区酪農対策協議会委員 (5名)	瀧澤 義一、對木 範誉、松井 俊治、大坂 博文 竹中 憲之(酪農振興会会長)	
(株)ジェイエーコムズ役員 (7名)	(代表取締役)	高橋 達雄
	(取締役)	對木 範誉、松井 俊治、岩田 一哉、秋里 繁幸
	(監査役)	松下 勉、武藤 清隆
(社)釧路市音別町農業振興公社役員 (3名)	(理 事)	瀬戸 計見、芳澤 改治
	(監 事)	田井 博行
よつ葉乳業(株)根釧工場運営協力会委員 (10名)	瀧澤 義一、對木 範誉、梶原 英光、高橋 達雄、松下 勉 松井 俊治、武藤 清隆、芳澤 改治、田井 博行、大坂 博文	
	(会 長)	瀧澤 義一
釧路西部J A生乳共同検査運営協議会	(監 事)	松井 俊治

釧路丹頂農協女性部交流会 開催!!



5月19日(水)、鶴居村運動公園において、釧路丹頂農協女性部員交流会が開催されました。

この交流会は、当JA合併時から毎年行なわれており、晴天のもと、鶴居・幌呂・白糠・音別の4地区から集まった女性部員及び関係者合わせて48名が一同に会し、交流を行ないました。そして、日頃なかなか会うことのない部員同志が、焼肉を囲みつつ意見交換を行ない親睦を深め、お楽しみ抽選会なども行なわれ、和やかなうちに終了しました。

(株)ジェイエーコムズが合併により新たにスタート!!



当JA子会社(株)ジェイエーコムズと鶴居共同農林(株)は、平成22年6月1日に合併し、会社名(株)ジェイエーコムズとして新たにスタートしました。

本店所在地は、鶴居東3丁目17番地(前 鶴居共同農林(株))に置き、釧路マイカーセンター(釧路市昭和中央6丁目2番4号)は支店となりました。

そして、6月1日には鶴居整備工場にて合併式が行なわれ、高橋達雄代表取締役より、「合併後も地域社会の発展に寄与し、組合員の営農とJA経営に貢献出来る会社を目指し、より一層努力して参りたい。」と挨拶がありました。

理 事 会 報 告

4月定例理事会 平成22年4月28日(水)

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 3月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 子会社等の決算状況について

付議事項

- 議案第1号 監事監査の結果に対する回答について

議案第2号 大口信用供与先等に対する融資の承認について

議案第3号 固定資産の取得について

議案第4号 職員就業規則の一部変更について

※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. 春季地区別懇談会における意見・要望等について

5月臨時理事会 平成22年5月14日(金)

付議事項

- 議案第1号 代表理事の選任について
- 議案第2号 役付理事(組合長・専務)の選任について
- 議案第3号 信用担当理事の選任について
- 議案第4号 各関係団体委員・役員の選任について
- 議案第5号 退任理事に対する退職慰労金の支給について

議案第6号 理事の報酬の配分について

議案第7号 常勤理事の事務引継に係る立会人について

議案第8号 参事の選任について

議案第9号 その他

※以上全件承認されました。

5月定例理事会 平成22年5月28日(金)

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 4月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について

付議事項

- 議案第1号 行政庁に提出する業務報告書及び連結業務報告書について
- 議案第2号 株式会社JA北海道情報センターの株式の取得について

議案第3号 固定資産の取得について

議案第4号 草地生産性向上対策事業の取組について

議案第5号 釧路農協連運営委員等の選出について

※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. 第4回通常総会における意見要望等について
2. JAグループによる口蹄疫対策募金活動について

繁殖管理を見直そう

繁殖管理のポイントには繁殖情報
の整理、発情発見技術の向上、
そして栄養面の改善があります。
今回はその中の栄養面について
考えましょう。

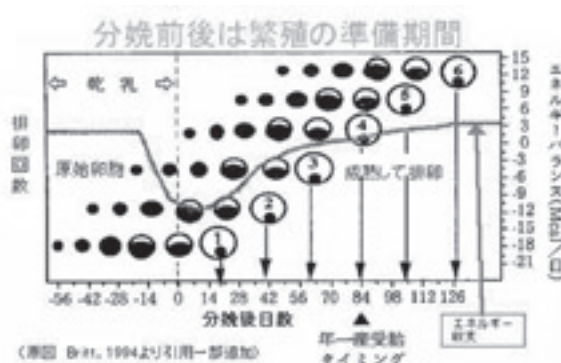
一、栄養の優先順位と繁殖

乳牛が栄養を使う順は①生体維持
持②胎子の発育③母体の成長④泌
乳⑤脂肪蓄積そして⑥繁殖です
(図一)。

栄養不足の場合、乳牛は下位の
ものから切り捨てていきます。
最初に影響を受けるのは泌乳や
脂肪蓄積ではなく繁殖です。



図一 乳牛の栄養補給の順位
(Dairy Science Update 1995/052より重引)



図二 卵の成熟とエネルギー収支

二、栄養状態と卵

卵は六〇〜八〇日かけて成熟し
ていきます(図一)。

卵が成熟する時期に母牛の栄養
状態が悪いと、卵の品質が低下し、
授胎率が悪くなります。

年一産を目指すために重要な分
娩後六〇〜八〇日は、泌乳に採食
が追いつかず、エネルギーが不足
しがちです。

この時期の牛に食べさせるため
には乾乳期〜泌乳初期に餌を食べ
られる状態をつくる必要があります。

三、卵の成熟時期に

栄養状態を良くする管理

①乾乳期

乾乳期は日々、大きくなる胎児
に圧迫され、一度に沢山は食べら
れません。

俊敏な動きも出来ないため、寝
起きがスムーズに出来ないなど、
行動の制限は採食の妨げになりま
す。

群飼いの場合、負け牛を作らな
いように密飼いを避ける事も重要
な事です。

地味でも重要な管理

- ・乾燥し、清潔な牛床管理
- ・豊富な敷料
- ・無繫留
- ・過密を避ける
- ・育成牛との同居を避ける

身軽な育成に
動きの鈍い乾
乳はかないま
せん。



②餌を食べられる状態を作る
栄養状態を良くするためには、
常に餌槽に餌があり、自由に食べ
られる環境が必要です。

地味でも重要な管理

- ・嗜好性の良い粗飼料の給与
- ・餌槽の掃き寄せ
- ・餌槽と給水器の掃除
- ・給水器に溜まった残滓はこまめに除去しましょう



給与しない餌は食
べられませんが、
□元に届かない餌
も食べられません。



牛にとって、経営主が与えてく
れる環境が全てです。
栄養状態を良くするために、餌
を食べられる環境づくりは欠かせ
ません。

餌を食べるために新鮮な水は欠か
せません。
また、牛は人よりも匂いに敏感
なため、餌槽・給水器の汚れや嫌
な臭いは食欲を低下させます。
地味でも次のような毎日の管理
が重要です。



■平成22年度 生乳生産実績（4月）

Table with 5 columns: Location, Monthly milk volume (kg), Year-on-year ratio (%), Cumulative milk volume (kg), Cumulative year-on-year ratio (%). Rows include various districts and totals.

■平成22年度 生乳生産実績（5月）

Table with 5 columns: Location, Monthly milk volume (kg), Year-on-year ratio (%), Cumulative milk volume (kg), Cumulative year-on-year ratio (%). Rows include various districts and totals.

家畜販売市況情報

乳牛

□予想相場

22年6月現在 (単位：千円)

Table showing milk cow market prices with columns for specifications, registration, and prices.

初生とく

22年6月現在

Table showing prices for newborn calves with columns for specifications and prices.

(提供／ホクレン釧路支所)

黒毛和種 22年6月15日音更市場

(価格：円・体重：kg)

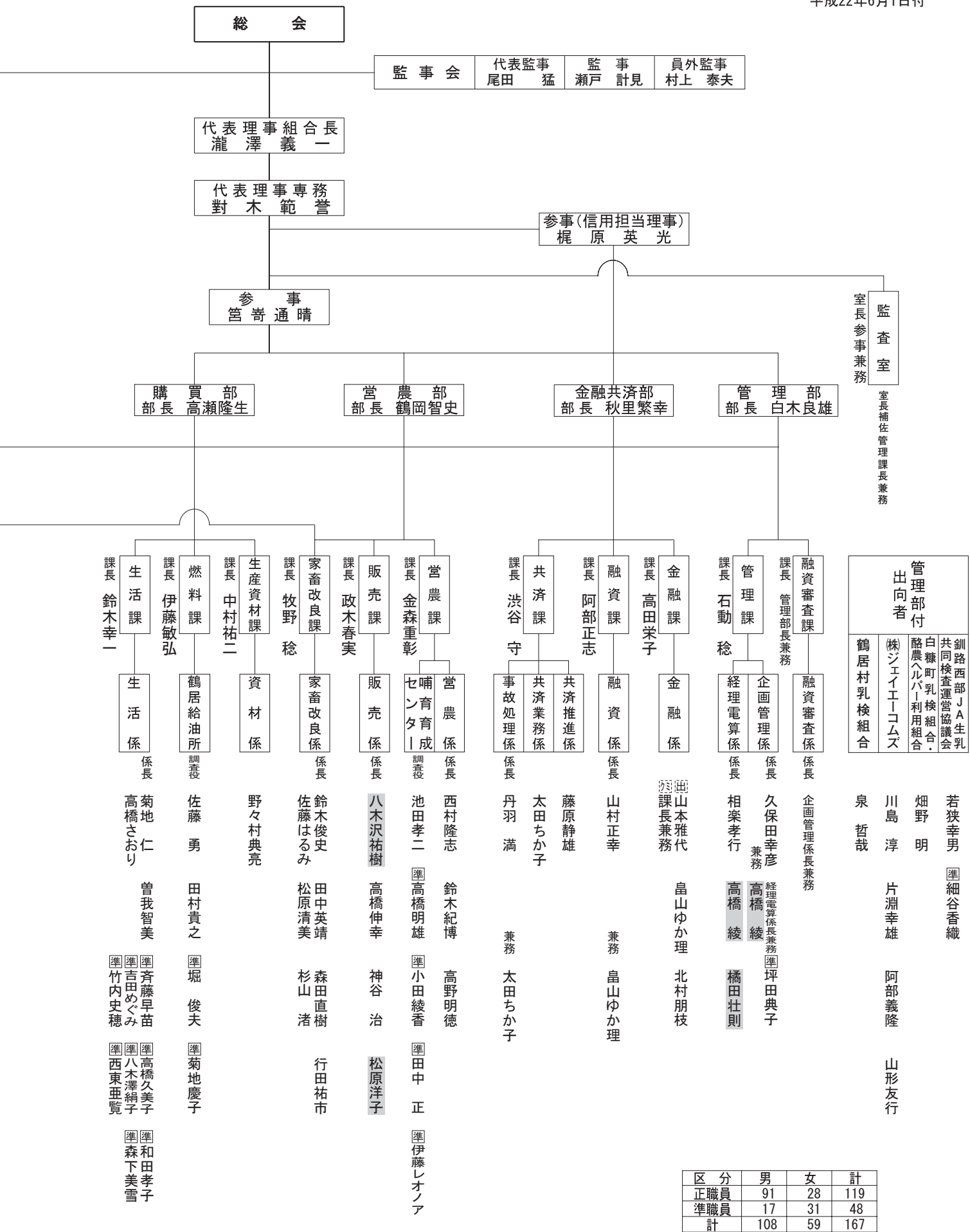
Table showing market prices for black and white Wagyu cattle with columns for breed, sex, number of heads, and prices.

(提供／ホクレン帯広支所)

辞 令 発 令

平成22年 6 月 1 日付

Table showing personnel changes with columns for name, new affiliation, and old affiliation.





JAくしろ丹頂組織機構図

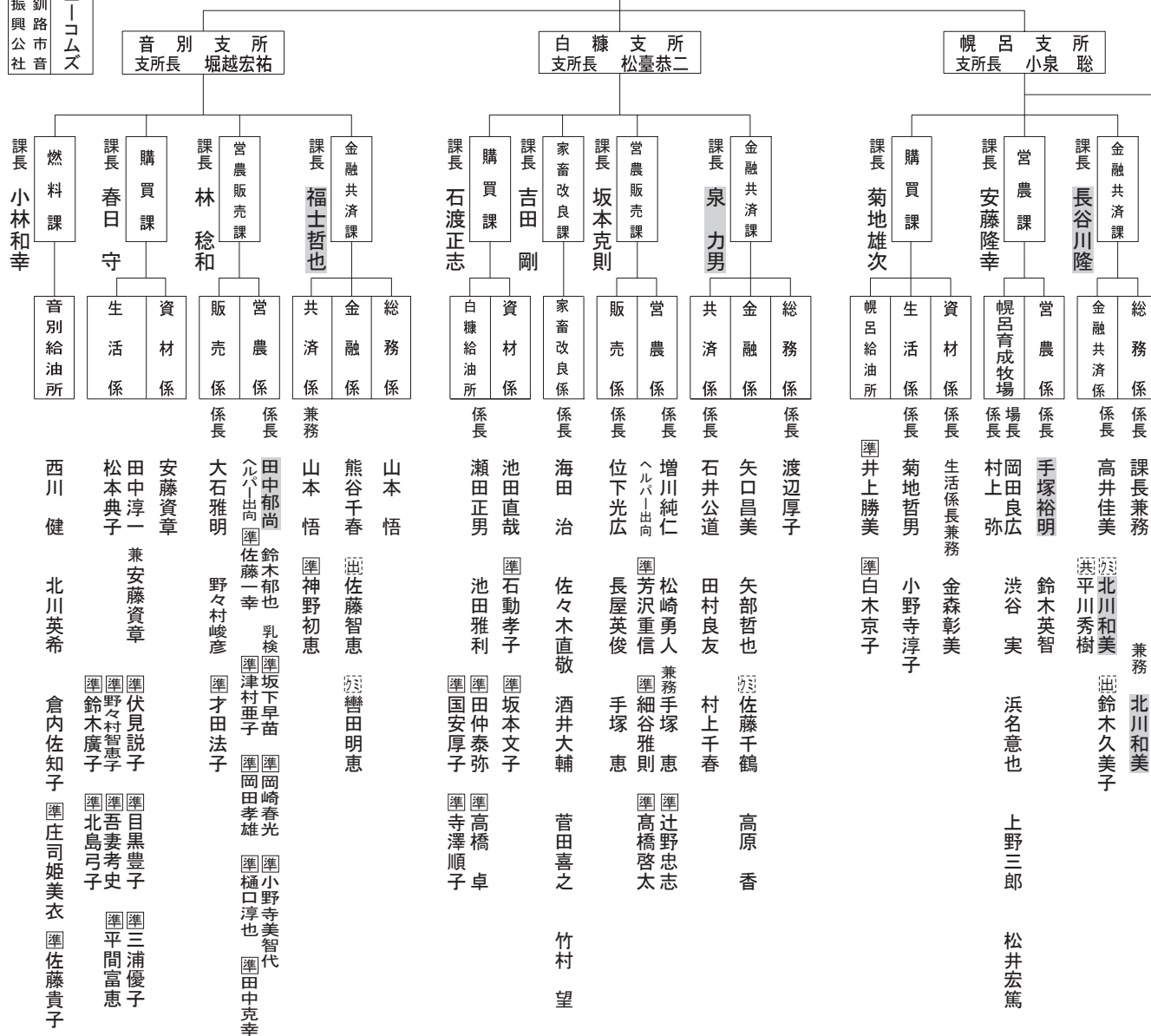
瀧澤義一 武藤清隆	對木範營 井出清澄	高橋達雄 芳澤改治	松下 勉 田井博行	松井俊治 大坂博文	学識経験理事 梶原英光	理 事 会
--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	----------------	-------

管理金融共済委員会
委員長 大坂博文

営農経済委員会
委員長 松井俊治

融資協議会
委員長 井出清澄

社 員	子会社
別町農業振興公社	(株)ジェイエーコムズ 社団法人釧路市音



畜産農家の皆さんへ

口蹄疫侵入防止の徹底を!!

現在、韓国、中国、台湾をはじめとする諸外国に続き、我が国でも10年ぶりに宮崎県において口蹄疫の発生が続いています。

本道への侵入防止を徹底するため、次のことを守りましょう。

- ・農場への**部外者の立入制限**を徹底
- ・畜舎出入り口には、**踏み込み消毒槽**を設置
- ・畜舎や関係車両は、**こまめな清掃・消毒**を実施
- ・海外や国内に旅行する際は、**畜産関係施設への立入自粛**
- ・**道内産**の牧草や稲わらを給与
- ・**残飯は十分に加熱**してから給与
- ・家畜を導入したときは、**隔離飼育して異常の有無を確認**
- ・**異常畜を発見したときは、獣医師、家畜保健衛生所に届出**

※口蹄疫は偶蹄類（牛・豚・羊・鹿など）の病気であり、人には感染しません。

口蹄疫ウイルスに有効な消毒薬

塩素系消毒薬 4%炭酸ソーダ 0.2%クエン酸
生石灰 消石灰 グルタルアルデヒド

北海道

編集後記
EDITOR'S NOTE

□6月に入り、道東の気温も、もう少し上がってほしいと思わざるをえない今日この頃ではありますが、今後の天候が良い方向になり、農作物が順調に育つことを願っております。

□今、家畜の伝染病口蹄疫が脅威となっております。個人や地域で出来る事、北海道や国としての取り組みなど、やらなければいけない事を今一度再確認し、防疫措置を徹底していくとともに、自分達の地域、農場は自分達で守るという意識と取り組みが必要と考えます。